

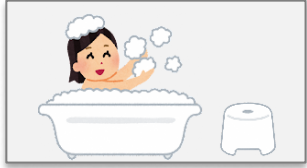





保護者のみなさまへ

児童生徒が安全にインターネットを利用するために

「GIGAスクール構想」によって、1人1台タブレット端末が支給され、児童生徒がインターネットを利用する機会はますます増えてきました。そこで今回は、児童生徒がインターネットを使っていく中でどのようなトラブルが発生しているか、また、そのようなトラブルにあう危険性を減らすために、保護者はどういう点に注意していけばよいのかを、紹介したいと思います。

どのようなトラブルが発生しているのか

<p>個人に関する情報を投稿</p>  <p>断片的な情報でも、他の情報と組み合わせることで個人を特定されることがあります。</p>	<p>他人のID・パスワードを使って、サービスを利用</p>  <p>他人のID・パスワードを使ってアクセスすることは、犯罪行為です。</p>	<p>不適切な投稿</p>  <p>非難のコメントが殺到し、問題の投稿と個人情報を拡散される可能性があります。</p>
<p>他者への誹謗中傷を書き込む</p>  <p>いじめなどに発展する他、罪に問われることもあります。</p>	<p>不正アプリのインストールや、あやしいメッセージの開封</p>  <p>端末がウイルスに感染し、データが流出したり、詐欺被害にあったりする可能性があります。</p>	<p>インターネットの長時間利用が習慣化</p>  <p>睡眠時間が削られて、健康や成長、学校生活に悪影響が及ぶことがあります。</p>

保護者が注意すべき点

- 子どもたちが利用するインターネット機器には、必ずフィルタリングサービスを導入する
- スマートフォンのツールなどを使って、子どもたちのインターネットの利用状況を確認する
- インターネット機器には、必ずウイルス対策ソフトを導入する
- 各家庭で子どもたちと話し合い、インターネット利用に関するルールを作る
(ルールは半年に1度など時期を決めて、定期的に見直す)

インターネット利用に関するルールの例

- ・夜10時以降はインターネットを使わない（学習で使用する場合は除く）
- ・食事中や誰かとの会話中は、インターネット機器を利用しない
- ・寝る部屋にインターネット機器は持ち込まない



トラブルにあう危険性を減らすための使い方を子どもたちと一緒に考えて、安全にインターネットを利用するための手助けをしてあげてください。